

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※ 受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
31-19	中学校	道 徳	道 徳	2 年
※ 発行者の番号・略称	※ 教科書の記号・番号	※ 教 科 書 名		
233日科	809	道 徳 中学校2 生き方を見つめる		

1. 編修の基本方針

心の成長を目指して

学校で

道徳科の授業で
他の教科の授業で
学校行事や部活動で
集団の一員として



今の僕、私

- ・好きなこと
- ・好きな言葉
- ・感動したこと
- ・自分のよいところ
- ・自分の直したいところ
- ・将来の夢

地域・社会で

自分の住む市や町や村で
地域の行事やボランティアで
社会の一員として



家庭で

家族との^{かか}関わりで
家族との話し合い
家族の一員として



◆ 本教科書が育てたいこと

- ① 自分の身の回りに興味・関心を持ち、問題意識を持つことができる
- ② 自分の考えを持ち、積極的に発言することができる
- ③ 他の人の意見をしっかりと受け止め、尊重することができる

中学生は、生徒自身が生きる社会や人間関係が飛躍的に広く複雑になっていきます。そしてそれに伴って、自分は、家族の一員であり、学校の一員であり、地域・社会の一員であることを、強く実感していく時期です。

広い世界は、新たな喜びや楽しみを運んで来る一方、今まで信じてきた「道徳的諸価値」が、激しくぶつかり合うことも経験するようになります。「友情」と「社会正義」、「自由」と「公共の精神」など、これまでどちらも正しいと捉えてきた価値が対立する現実です。そこで子供たちは、何を信じたらいいか分からず、どちらかを選ぶこともできず、情緒的に不安的になる場合があります。

このような状況において、学校の「道徳」が担う役割とは何でしょうか。

私達は、徹底的に「道徳的書価値」に向き合わせることでと考えました。表面的な見方に留まらず、より深い理解に到達することができる時間にするという事です。



「道徳的諸価値」と真剣に向き合うことが、価値観の多様性をしっかりと受け入れる寛容さを育みます。その目指すところは、生徒一人ひとりが、国境や文化を超えた「普遍的な心」を持つことです。それはすなわち、相手の立場を尊重し、心から思いやる心です。

この心によって、地域社会や国、そして世界に主体的に関わる意識を生み、これからの未来を見据えて行動することに繋がっていくと考えています。

本教科書は、教育基本法に示された教育の目標を達成し、上記の「普遍的な心」を育むために答えが1つではない道徳的課題を、一人ひとりの生徒が、自分自身の問題と捉え向き合い、「考えること」ができ、そして他の人と「議論すること」ができる教材を揃え、さらに生徒が学びやすく、先生が教えやすい紙面を目指して編集を行いました。

2. 対照表

図書の構成・内容	該当箇所	特に意を用いた点や特色
◆目次	表②-p.1	本書は、学習指導要領の内容項目順に教材を配置してあります。「A 自分自身と向き合う」「B 他人とのかかわり」「C 集団や社会とのかかわり」「D 自然や崇高なものとのかかわり」の4章立ては、それぞれ学習指導要領のABCDに対応しています。これは、教科書の順番に縛られることなく、各地域、各学校の特色や方針によって、自由に各教材を活かしてほしいという意図があります。(第1号)

◆巻頭詩「自分をはぐくむ」	pp. 2-3	中学2年生という時期に、あらためて自分を深く見つめてもらいたいという趣旨を1編の詩に託しています。 (第1号)
◆道徳科って何を学ぶの ◆心の成長を目指して	pp. 4-6	「道徳科って何を学ぶの」は、学習指導要領の内容と「考え、議論する道徳」を確認する内容になっています。そして「心の成長を目指して」では、「道徳科」を、学校教育、地域・社会、家庭のなかで位置づけ、生徒により広い視野から「道徳科」を捉えるように促しています。 (第1号)
A 自分自身と向き合う	pp. 7-38	学習指導要領「A主として自分自身に関する事」の5項目に該当する教材を掲載しました。まず「十四歳の責任」では、14歳は心や身体が大人に近づくとだけでなく、法的にも責任が生じる歳ということをしっかりと理解し、考えることができる内容になっています。そして「パートリーダー」「ネット将棋」「ワン・ステップ」では、生徒の日常生活で生じる責任について、より具体的事例を通して考えることができます。(第2号) また先人として、山極勝三郎と高村光太郎を取り上げて、その気高い生き方から、生きる勇気や真理を追い求める態度などを感じることができます。(第1号)
B 他人とのかかわり	pp. 39-78	学習指導要領「B主として他人との関わりに関する事」の5項目に該当する教材を掲載しました。特に、今回の教科書全体を通して、いじめの問題を重視したいという思いから、「友情、信頼」の教材を、3編載せています。 (第3号)。
C 集団や社会とのかかわり	pp. 79-152	学習指導要領「C主として集団や社会との関わりに関する事」の7項目に該当する教材を掲載しました。「マナーとルール」「こんなときどうしたらいいの?」は、ポイ捨てと障害者というテーマから、「公共の精神」や、社会の形成者として、どのように考え行動していけばいいのかについて話し合うことができる内容です。(第3号) またより広い視野から考えてもらうために、国際関係に焦点を当てています。「キスからもらった勇気」はポーランド、「ウズベキスタンの桜」はウズベキスタン、「白菊」はアメリカ、コラム「台湾に遺したもの」は台湾と、他国を尊重することや、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるように工夫しました。(第5号)
D 自然や崇高なものとのかかわり	pp. 153-189	学習指導要領「D主として生命や自然、崇高なものとお関わりに関する事」の4項目に該当する教材を掲載しました。(第4号)。「コンスタンチン君・命のリレー」では、実際にあった出来事から、勤労や責任というテーマから、生命とは何かについて考えられる内容になっています。(第4号) また「ガラスの地球を救え」では、手塚治虫の迫力ある提言から、環境の保全に寄与する意識や態度を育むことができる内容になっています。(第4号)
◆振り返りましょう	p. 190	「道徳科」で、1年間自分が育んできたものを、あらためて客観的に確認し、次年度に向けての目標を立てることができるワークシートを用意しました。(第1号)

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

教育基本法第5条との対応

◆B-9「だから歌いつづける」とコラム「友達の詩」ではLGBTの問題を取り上げ、一人ひとりの個性と、その各個人の有する能力をいかに伸ばしていけるかについて考えを巡らすことができる内容になっています。多様な個性を持つ個人が、社会において自立的に生きる基礎を培いながら、同時にひとつの国家及び社会の形成者として必要とされる基本的な資質について話し合うことができます。(第2)

号)

学校教育法第 21 条との対応

- ◆ D-21「いのり」は、「御仏供杉」を通して、数限りない人々のいのりを見ることで、生命の連続性の迫りに触れ、尊重する精神を育むことができる教材です。(第 2 号)
- ◆ C-16「よ～いや、さ～～」は、誰でも一度は聞き、踊ったことがある盆踊り唄。そこに込められた本当の意味を知ること、今私達が生きている郷土には、多くの、そして大きい思いが込められていることを実感することができる教材です。(第 3 号)。

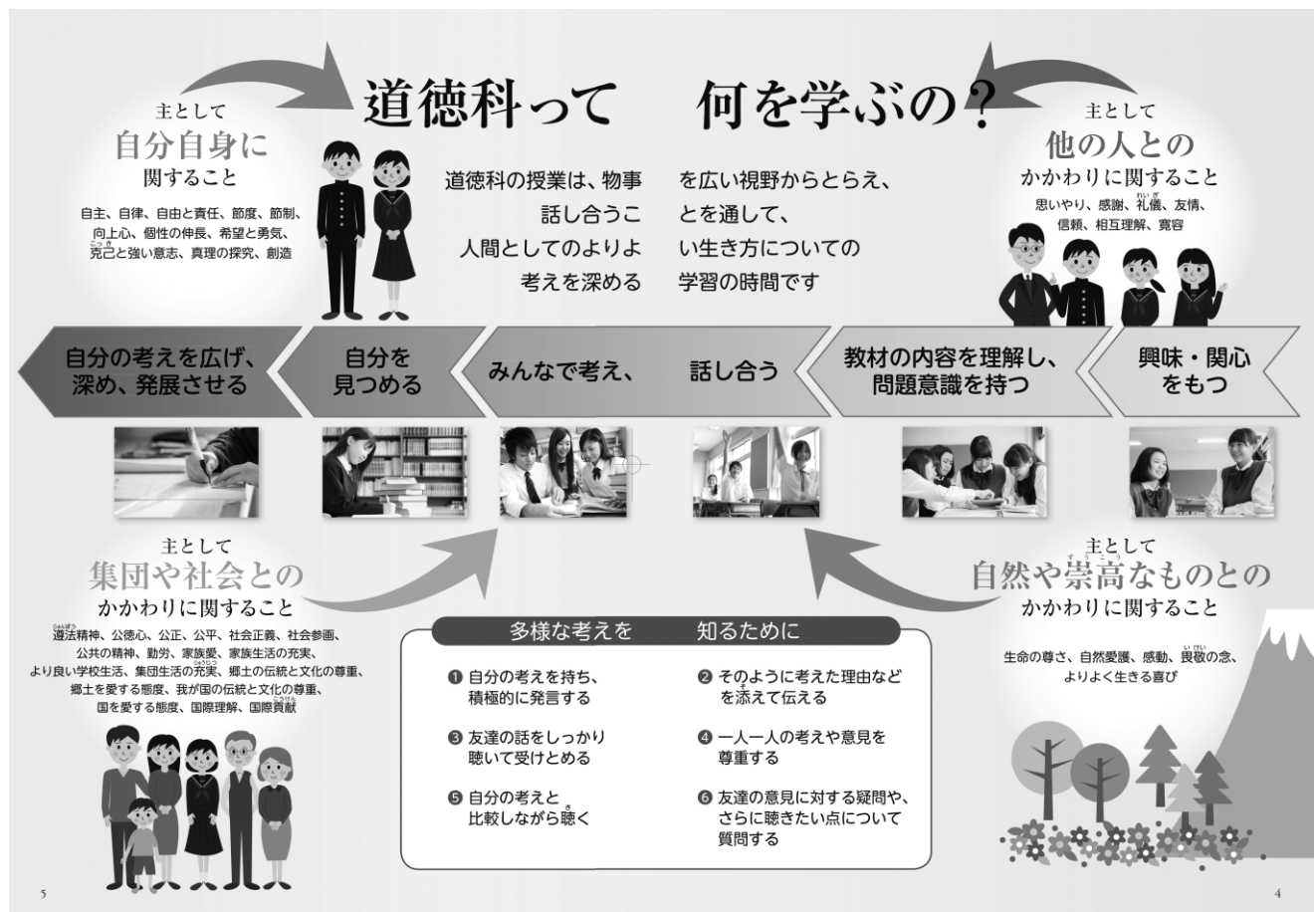
編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※ 受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
31-19	中学校	道 徳	道 徳	2 年
※ 発行者の番号・略称	※ 教科書の記号・番号	※ 教 科 書 名		
233 日科	809	道徳 中学校2 生き方を見つめる		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

本書は教育基本法第2条に示す教育の目標を達成するために、以下の基本方針で編集しました。



出会い、ふれあい、みがき合う道徳科教科書

- (1) 道徳的諸価値の理解を基に生み出される価値観の多様性
- (2) 道徳性育成に向かう「主体的・対話的で深い学び」の授業の実現
- (3) 道徳教育の系統性と体系化（カリキュラム・マネジメント）を支える教材

(1) 道徳的諸価値の理解を基に生み出される価値観の多様性

人間尊重の精神を基盤とし、様々な事象を道徳的諸価値の理解を基に自己との関わりで多面的・多角的に捉え、人間としての生き方についての見方・考え方を広げ、深めます。

①生徒が、身近な事例から道徳的諸価値について考える

本書は、生徒一人ひとりが、国境や文化を超えた普遍的な心を持つことを目指しています。それはすなわち、相手の立場を尊重しながら、心から思いやる心と言えます。

その心を持つためには、「道徳的諸価値」と向きあい理解することが重要です。「友情」と「社会正義」、「自由」と「公共の精神」など、場合によって私たちは複数の道徳的価値からどの価値を優先するのかを決めなければなりません。そうした時に必要なのが、それぞれの価値のしっかりとした理解です。

本書は、中学2年生の発達段階を考慮して、生徒の日常生活における身近な話題の教材を多く盛り込みました（A-1「パートリーダー」、A-3「ワン・ステップ」、B-8「リョウとマキ～Triangle Zone～」など）。これらの教材のなかでは、登場人物が道徳的問題について心の葛藤や揺れに直面します。登場人物の悩みや葛藤を共有し、その道徳的問題や判断の結果を自分自身のことと捉え、考え、話し合うことで、道徳的諸価値への理解を深めることができます。

②先人から、自己の生き方を見つめ直す教材

①の身近な事例からだけでなく、先人の気高い生き方から、生きる勇気や知恵などを感じることができる教材を掲載しています。

A-4「人工ガンをつくり出せ」では山極勝三郎、A-5「僕の後ろには道は出来る」では高村光太郎、C-16「よ～いや、さ～～」では野中兼山、またコラムでは橋本左内を取り上げ、真実や真理を求め続ける姿勢や、その背景にあった人間の弱さや醜さを吐露する姿などを知ることによって、生きることの魅力や意味の深さについて考えられるようになっていきます。加えて、東京オリンピックを誘致したフレッド・和田勇さん、スポーツ分野では、プロ野球の長嶋茂雄さんと松井秀喜さん、盲ろう者の大学教授である福島智さん、また漫画家の手塚治虫さんの文章も掲載しています。

③日本の伝統と文化、そして他国を尊重する教材

B-7「道」の文化」では、茶道の体験をとおして、日本の「道」について理解を深められるようになっていきます。C-16「受け継がれた夜」では、早船狂言を取り上げ、郷土に根付く優れた伝統と文化への愛情を育みます。また合わせて、他国への視線として、C-18「白菊」を掲載しています。辛く悲しい歴史的事実に向けての慰霊の花火は、国際協調の精神を育むうえでの大切な心を育みま

(2) 道徳性育成に向かう「主体的・対話的で深い学び」の授業の実現

「考え、議論する道徳」の授業過程が構築され、道徳性を支える資質・能力を育成します。

①「考え、議論する」道徳授業ができる教材

中学生の発達段階では、生徒自身が生きる社会や人間関係が、飛躍的に広く、複雑になっていくことから心理面での成長の一方、情緒的に不安定になる場合もあります。また人間関係の広がりや深さから、日常生活においては、「道徳的諸価値」がぶつかり合うことを多く経験していくこと

になります。そのためにも本書は、答えが1つではない道徳的な課題を、一人ひとりの生徒が自分自身の問題と捉え、「議論すること」を前提とした以下の教材を用意しました。

◆A-3「僕たちのキャリアプランニング」、〈コラム〉「わたしのカルテ」

将来つきたい職業について8人の男女の生徒が話し合っている教材です。彼らの目標や夢を踏まえて、自分自身の将来を考えます。コラムとして「わたしのカルテ」も載せています。将来の自分自身を考えるにあたって、まず今の自分を掘り下げることができるワークシートです。

◆B-9「あなたが見えているもの」

錯覚の写真を使った教材です。同じものを見ているのに、違う見え方をする。その不思議を体験することから、日常的に生じる違い、家族や友達との意見の違いなどについて考え、話し合うことができます。

◆B-7「こんなとき、どうしたらいいの？」

障害者が日常に経験するいくつかの事例を考え、話し合うことで、それぞれ違う個性を持つ存在が、お互いを尊重し、共に安心して暮らせる社会とは何かを考え、話し合うことができる教材です。

②社会参画への意欲や態度を育む教材

C-12「ロックンローラー」は地域社会の衰退、「秀明の初ボランティア」ではホームレスという社会問題を扱っており、今の社会には、どのような問題があるのか、そのために自分は何が出来るのかを考え、話し合うことを促します。また「社会に参加する？」というコラムを掲載し、国際的意識調査から、日本の若者は、自分が生活している社会や国をよりよくするために、積極的に参加しようとする意識が、他国と比べて著しく低いという現状を紹介し、その原因について考えさせる内容です。

(3) 道徳教育の系統性と体系化（カリキュラム・マネジメント）を支える教材

各学年の発達の段階を踏まえた系統性と、各教科、他領域の学習内容との関連を考慮し道徳教育の体系化を実現させます。

① 発達段階を踏まえた学年間につながりのある教材

中学校の3年間は、心も体も大きく成長する時期です。その発達の段階を考慮しつつ、学年間の繋がりも重視した教材を採用しています。価値の多様性をしっかりと受け入れる寛容な心を育む項目は、1年の「二つの足跡」から、2年の「あなたが見えているもの」、3年の「あなたは どう思う」と、すべてワーク方式を取り入れ、思考と議論を年単位で積み重ねられるようにしています。また次の教材のようにストーリーに連続性をもたせているものもあります。

◆B-8「リョウとマキ～Triangle Zone～」

このリョウとマキのストーリーは、1年「First Love」の続きであり、「Stand by Me」へと主人公の成長とともに続いていくものです。リョウとマキと共に1年歳を重ねた生徒が、また直面する悩みや葛藤を共有し道徳的問題として考えてほしい教材です。

② 他教科との繋がりを考慮した教材の充実

◆A-3「ワン・ステップ」

1年生の教材であるA-3「パーソナリティ」は、自己を見つめ、自己の個性、能力、適性等について主人公を通して考えさせたい教材です。1年生の自己理解から、この2年生の教材A-3「ワン・ステップ」では、自己啓発をテーマに、3年生ではC-12「ライフ・ロール」で自己実現に向けて想定される葛藤を通し道徳的問題に向き合わせます。これらは、道徳的価値の理解を基盤に、キャリア教育の視点からキャリア発達の段階の連続性と系統性を意図した教材になっています。

◆ C-12「ロックンローラー」「秀明の初ボランティア」

◆ C-13「繁盛のためには」「加山さんの願い」

中学生になると、地域の行事や社会福祉施設などでボランティア活動に参加したりすることを通して、働くことへの意識や、よりよい社会を協力して築こうとする意欲が強まってきます。中学2年生では、社会科の公民的分野での社会参画や社会連帯の在り方や公共の精神などを学習するために、より具体的な知識を持って、社会の一員であることの意味や働くことの意義を、道徳的観点からもしっかりと考えることができます。それに対応するための教材を多く用意しました。

◆D-19「コンスタンチン君・命のリレー」「キミばあちゃんの椿」

「人間尊重の精神」やいじめを許さない心の根底には、生命を尊ぶ態度が不可欠です。理科や保健体育、技術・家庭などの他教科等での学習も踏まえつつ、本書では、生命とは何か、その尊さを守るためにはどのように考えていったらよいかなど、よりよく生きていくためには、生命尊重への学びをより深めることができる教材を用意しました。

2. 対照表			
図書の内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
A 自分自身と向き合う			
十四歳の責任 パートリーダー	(1) 自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと。	p.8-16	2
ネット将棋	(2) 望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け、安全で調和のある生活をする。	p.17-21	1
僕たちのキャリアプランニングワン・ステップ	(3) 自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。	p.22-28	2
人工ガンをつくり出せ	(4) より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気を持ち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること。	p.29-32	1
僕の後ろに道は出来る	(5) 真実を大切に、真理を探究して新しいものを生み出そうと努めること。	p.33-38	1
B 主として人との関わりに関する事			
百歳の詩人	(6) 思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めること。	p.40-42	1
「道」の文化	(7) 礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとること。	p.43-47	1
リョウとマキ～Triangle Zone～ 雨の日のレストラン 昭和の大スターと平成の大スター	(8) 友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。	p.48-63	3
だから歌い続ける あなたが見えているもの 言葉の向こうに	(9) 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなもの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと。	p.64-78	2
C 集団や社会とのかかわり			
マナーとルール 二通の手紙	(10) 法やきまりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切に、義務を果たして、規律ある安定した社会の実現に努めること。	p.80-91	2
キスからもらった勇氣 こんどとき、どうしたらいいの？	(11) 正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めること。	p.92-97	2
ロックンローラー 秀明の初ボランティア	(12) 社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めること。	p.98-107	2
繁盛のためには加山さんの願い	(13) 勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献すること。	p.108-118	2
母のアナウンス	(14) 父母、祖父母を敬愛し、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築くこと。	p.119-123	1
15分間のクリーン作戦 よ～いや、さ～	(15) 教師や学校の人々を敬愛し、学級や学校の一員としての自覚をもち、協力し合ってよりよい校風をつくるとともに、様々な集団の意義や集団の中での自分の役割と責任を自覚して集団生活の充実に努めること。	p.124-132	2
受け継がれた夜	(16) 郷土の伝統と文化を大切に、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めること。	p.133-137	1
日本にオリンピックを呼んだ男 ウズベキスタンの桜	(17) 優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献するとともに、日本人としての自覚をもって国を愛し、国家及び社会の形成者として、その発展に努めること。	p.138-147	2
白菊	(18) 世界の中の日本人としての自覚をもち、他国を尊重し、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に寄与すること。	p.148-152	1
D 自然や崇高なものとのかかわり			
コンスタンチン君・命のリレー キミばあちゃんの手紙	(19) 生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重すること。	p.153-165	2
ガラスの地球を救え	(20) 自然の崇高さを知り、自然環境を大切にする事の意義を理解し、進んで自然の愛護に努めること。	p.166-171	1
いのり	(21) 美しいものや気高いものに感動する心を持ち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深めること。	p.172-176	1
絶望からの生還 足袋の季節 二人の剣士	(22) 人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることの喜びを見いだすこと。	p.177-189	2
※基本的に1教材を1授業で配当しているが、内容項目で3教材あるところは、各学校の道徳指導方針に沿って、適宜選択すること。			計35